

事業所名

エントラーダ 広陵

## 支援プログラム

作成日

令和8

年

2月

20日

法人（事業所）理念	お子様が一人でできることを見つけれよう「入り口」を作ります。ひとり一人に合ったプログラムを組み、強みを発見し、できることを増やし、可能性を広げることで自分らしく生き生きと過ごせるよう手伝う。子育て支援にも力を入れご家庭での悩みや不安と一緒に検討、解消を手伝う。						
支援方針	日常生活における身の回りの行動（身辺自立）や集団生活のルールを守り、ひとり一人のプログラムにて「できる」を増やすことをサポートする。						
営業時間	10時	0分	から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態の把握、維持、改善</li> <li>改善粗大運動を取り入れ、体力や運動能力の向上の支援をします。・トイレに行くタイミングの声掛け（絵カード）や食具の訓練などを行います。</li> <li>外活動を取り入れることで自律神経機能の向上や健康な発育を支援します。・活動中の水分補給やおやつ摂取による補水・摂食のトレーニングをします。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボルダリングや感覚統合療法を取り入れ、振動、身体の重みを使ったアクティビティ、バランスのトレーニングなどを行い。子どもたちの感覚統合を促進し、感覚の適切な統合をサポートします。</li> <li>スヌーズレンルーム等を活用し「光」「映像」「音」「温度」「触覚」「臭い・香り」「味」「揺れ」など様々な刺激の中から自分が好む感覚を受け取ることや、落ち着いた空間の中でリラクセスをします。</li> </ul>					
	認知・行動	絵本や製作を行い、壁画などにより季節感を感じ取れるよう行います。また触ることでの手の感覚を養います。・タイムタイマーを取り入れ活動スケジュールの理解、ルールの理解を行います。・他の人や自分、物を叩くなどの社会的に受け入れがたい行為が見られた際は、応用行動分析の手法を用いてその理由を見つけます。そしてその理由に合った方法で適切な行動の習得を目指します。					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語によるコミュニケーションができるお子さまにはそれぞれのレベルにあった問いかけをして話すことを楽しんでもらいます。またその場に適切な言葉遣いも伝えていきます。</li> <li>言語が難しいお子さまには、それぞれに合った方法でコミュニケーションがとれるよう支援します。具体的にはジェスチャーやカードなどでの支援を行います。</li> <li>様々な年齢の児童と交流、関わることで、「伝える」「聞く」を経験できる支援をします。</li> </ul>					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己理解：出来ないことの実験により不安対象の理解またその対処ができるようサポートを行います。</li> <li>集団スキル・園生活・学校生活・地域生活・社会的スキルに関するプログラムを実施します。</li> </ul>					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育ての助けとなるように、本人の強み、感覚や認知の特性などをお伝えし、必要に応じて面談の機会を設けます。・家族の休息。</li> <li>ご希望により親子療育も行う。本人との接し方を知ってもらいます。</li> </ul>	移行支援	学校や関係機関との連携				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の商店街での交流（買い物や行事参加）。地域保育園との交流。・相談支援事業所などの関係する機関、事業所との情報共有。</li> </ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>強度行動障害支援者養成研修(基礎研修・実践研修)・3か月に1回児童に対する担当者会議、虐待防止、権利擁護研修、社内研修</li> </ul>				
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回季節に合わせた行事（商店街の行事、イベントを含む）・保護者会</li> </ul>						